

9 教育費

1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務給食課] P. 345

2201 通学送迎に要する経費 598,080 円 (598,080 円)

[一財 598,080 円]

○ 目的

旧高須小が桜が丘小に統合されたことに伴い、遠距離通学となる大留第1地区（小貝川左岸）の児童の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

登下校時に、桜が丘小と対象児童の自宅の間をタクシーで送迎した。

対象者 大留第1地区の児童 6年生：1人

○ 効果

対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P. 345

2301 教育情報機器整備に要する経費 38,758,787 円 (24,706,500 円)

[一財 38,758,787 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うため、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。

○ 内容

- ・小中学校全校の校務事務の情報を教育委員会と学校が共有することで、教職員の事務の効率化を図る。
- ・市内全小中学校において、教職員用パソコンを3月に入替えを実施した。
- ・市内小学校において、成績保健管理システムを導入し、教職員の事務の効率化と個人情報保護を図った。

主な事業費内訳

- | | |
|-------------------|-------------|
| ・教職員情報ネットワーク使用料 | 5,103,000 円 |
| ・教職員用パソコン使用料 | 1,627,500 円 |
| ・小学校児童情報管理システム使用料 | 4,914,000 円 |

○ 効果

- ・教育委員会と学校が情報を共有する事で、事務の効率化が図れた。
- ・小学校成績保健管理システムを導入したことで、小学校教職員の事務の効率化が図れた。

1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P. 347

2101 奨学生貸付金 2,880,000 円 (2,880,000 円)

[その他 2,880,000 円]

* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 6,443,200 円(償還者数：33名)のうち 2,880,000 円]

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

○ 内容

貸付額 国公立大 月額 30,000 円 私立大 月額 40,000 円

種 別	25 年度	24 年度	23 年度
国公立大学	0 名	0 名	0 名
私立大学	6 名	6 名	7 名
合 計	6 名	6 名	7 名

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P. 347

0501 教育振興に要する経費 49,677,241 円 (51,993,369 円)

[一財 49,677,241 円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の激しい社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむことをねらいとして、教育の充実を図る。

そこで、デジタル教科書を活用しての授業、英語指導助手との連携による授業、学習ボランティアや心の先生を活用しての授業などの実践を行う。

○ 内容

- ・社会科副読本「わたしたちの茨城県」購入（小学4年生） 550,560 円
- ・社会科地図「わたしたちの取手市地図」印刷（小学3年生） 292,950 円
- ・社会科地図「取手市・守谷市・北相馬郡全図」印刷（中学1年生） 220,500 円
- ・英語指導助手業務委託料 44,730,000 円
英語指導助手 12 人（中学校各校 1 人・小学校 3 校に 1 人配置）を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手との交流により国際理解の推進を図った。
- ・デジタル教科書（指導用提示資料使用料） 2,381,400 円
- ・学習ボランティア謝礼 225,000 円
- ・「心の授業」「心の先生」謝礼 212,000 円
- ・学校問題解決サポートチーム員謝礼 25,200 円
- ・その他（需用費・負担金等） 1,039,631 円

○ 効果

新学習指導要領全面実施をふまえ、各教科のねらいに迫る授業展開が図られた。デジタル教科書を活用することで、児童生徒の学習意欲を高めることができた。小学校の外国語活動、中学校の英語教育、及び国際理解教育の充実が図られた。

[担当：指導課] P. 349

1001 特別支援教育に要する経費 2,691,124 円 (2,807,698 円)

[一財 2,691,124 円]

○ 目的

障害のある児童生徒を支援したり、保護者や教職員からの相談に応じたりする活動を通し、取手市内小中学校の特別支援教育の充実を図る。

○ 内容

(1) 特別支援教育相談員の配置

児童等の就学や適応に関する調査や教職員や保護者に対する相談活動を行う。

・相談件数

区 分	H25 年度 (115 件)	H24 年度 (95 件)
未就学児に関して	66 人	66 人
在学児童生徒に関して	19 人	21 人
教職員から	30 人	8 人

(2) 就学指導委員会の実施

障害のある幼児児童生徒の適切な就学のため、医師・特別支援学級担当者・県立伊奈特別支援学校教諭等で構成する委員会。就学先を協議・判定する。

・判定件数

区 分	H25 年度 (111 件)	H24 年度 (83 件)
新学齢児	46 人	37 人
在学児童生徒	65 人	46 人

(3) 特別支援教育サポート事業の実施

地域における特別支援教育相談体制を充実させるとともに、小中学校等における特別支援教育校内支援体制の整備と活用に関する支援を行う。

教職員や保護者向けの相談活動「ほのぼの相談会」や、教職員向けの研修会などを企画・運営している。

・「ほのぼの相談会」相談件数

区 分	H25 年度 (15 件)	H24 年度 (7 件)
保 護 者	11 人	7 人
教 職 員	4 人	0 人

・研修会への参加者

区 分	H25 年度	H24 年度
特別支援コーディネーター研修会	38 人	37 人

○ 効果

障害のある幼児等を早期に発見できたことにより、幼稚園・保育所と小学校が連携して適切な支援の移行を行うことができた。

市内小中学校における校内支援体制を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 349

2301 適応指導事業に要する経費 25,508,652 円 (25,890,648 円)

[一財 25,508,652 円]

○ 目的

不登校などの悩みを抱える児童生徒には、適応力を高め、学校へ復帰するための力を伸ばす指導が必要である。様々な要因で集団に適応できない児童生徒に適切に対応するため、学校や関係諸機関との連携を図りながら本人や保護者への指導・助言を行う。

○ 内容

教育相談員と指導主事が、適応指導教室や学校において、教科の指導・集団活動・個別の相談業務等を行った。これらを通して児童生徒が自立し、コミュニケーション力をつけ、学校に適應できるよう継続的に支援した。併せて、保護者との面談も行った。

○ 効果

平成 25 年度は小中学生計 10 人の通室者のうち、6 人が学校生活に復歸することができた。また、学校への復歸ができなかった児童生徒も適応指導教室に通室することによりコミュニケーション力を育成することができた。

年 度	通室者数	復歸数	復歸率
H25	10 人	6 人	60%
H24	9 人	4 人	44%

[担当：指導課] P. 351

4201 日本語指導員に要する経費 1,138,710 円 (2,657,175 円)

[一財 1,138,710 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を行い、学校生活を支援する。

○ 内容

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者との通訳等

○ 効果

日本の学校への円滑な受け入れが可能となり、学校生活の不安を解消できた。

年度	指導員数	支援対象児童生徒の内訳
H25	5 人	英語 4 人 中国語 1 人
H24	9 人	英語 8 人 ハングル 1 人

[担当：指導課] P. 351

4501 学力向上推進事業に要する経費 4,068,418 円 (4,043,563 円)

[国・県 879,000 円 一財 3,189,418 円]

* 特財内訳

[県委：学びの広場サポートプラン委託金 879,000 円]

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な内容の定着を図り、確かな学力を育成する。また、指導体制や指導方法等の研修を深め、教員の資質向上を図る。

○ 内容

6～2 月

授業研究会 (国語・社会・算数数学・理科・英語・道徳等 1 回、小学校外国語活動 1 回)

7～8 月

夏休み算数スクール (市立全小学校 6 学年に学習支援員を 1 人ずつ 5 日間配置)

学びの広場 (市立小学校 4・5 年全学級に学習支援員を 1 人ずつ 5 日間配置)

10月9日

学校経営（小中連携（一貫）教育推進）研修会

12月17日

算数授業力向上研修会（授業研究および講演会）

○ 効果

研修会や講演会を通して教職員の資質向上を図ってきた。特に国語科・算数数学科・小学校外国語活動においては、研修内容が即授業実践につながるなど、実効性の高い研修となり、事業の成果向上がみられた。さらに、小学生4年生以上を対象に長期休業期間中、特に算数における不得意分野の学習を支援することで、児童の学ぶ意欲の向上を図り確かな学力を育成することができた。

[担当：指導課] P. 351

4801 小中連携（一貫）教育推進事業に要する経費 1,110,305円（1,098,399円）

[一財 1,110,305円]

○ 目的

中学校生活への適応や学力の向上などをねらった小中連携・一貫の取組をモデル学区において推進するとともに、市内全学区への啓発や一般化を図る。

○ 内容

小中連携（一貫）教育を推進するための視点を明らかにし、それを踏まえた具体的施策をモデル学区及び他の中学校区において実践する。

※小中連携（一貫）教育推進のための視点

- ① これまでの取組の整理
- ② 小中一貫教育の啓発
- ③ 教科担任制への適応
- ④ 小中教師それぞれの特長を生かした教師間交流
- ⑤ 児童生徒間の交流
- ⑥ 生徒指導の一貫性や学校生活への適応
- ⑦ 教育課程の連続性や教育内容の一貫性
- ⑧ 学力向上

事業の取組を充実させるため、モデル学区における補充講師の配置、研修講師の招聘、児童生徒の交流活動に係る移動用バスの運行などの環境整備を行う。

・講師謝礼	575,000円
・児童生徒の交流活動移動用バス代、楽器運搬費	532,575円
・その他消耗品等	2,730円

○ 効果

中学校生活への適応や学力の向上などテーマとして、大学教授による管理職研修会の実施や、教師間交流による研修を充実させた。また、バス8台・楽器運送用トラック9台を活用して児童生徒の交流活動を推進し、小中連携・一貫の取組について市内全学区への啓発や一般化を図ることができた。モデル学区においては、中学校教師が小学校で専門性を生かした授業を行うなどの「乗り入れ授業」を実施し、小学校から中学校へのスムーズな移行を行う一助となった。さらに、地域人材を活用した「キャリア教育」では、児童生徒に将来への視野を広げさせることができた。

[担当：指導課] P. 351

5001 公共プールを活用した中学校水泳学習推進事業に要する経費

1,137,063 円

[一財 1,137,063 円]

○ 目的

中学校の水泳学習を公共のプールを活用することで、夏季以外でも水泳学習を行うなど、計画的・効率的に学習を進めることができ、授業の質の向上を図る。

○ 内容

取手グリーンスポーツセンターのプールにおいて、水泳学習を行う。生徒の移動は安全面を配慮し市有バスと借上げバスを利用する。

- ・講師謝礼 927,063 円
- ・児童生徒の移動用借上げバス代 210,000 円

○ 効果

永山中学校、各学年において、それぞれ3回、計9回の水泳学習を行った。天候に左右されず、年間を見通して計画的・効率的に授業を実施することができた。

泳力差によるコース別(3コース)にし、個に合った指導ができ、個人の泳力も向上した。また、指導員がそれぞれのコースに配置され、きめ細かな指導と安全確保ができた。

[担当：指導課] P. 353

5101 インクルーシブ教育システム構築モデルスクール事業に要する経費

1,074,012 円

[国・県 1,074,012 円]

* 特財内訳

[国委：インクルーシブ教育システム構築モデル事業委託金 1,074,012 円]

○ 目的

障害のある子どもに対して、その状況に応じて提供する「合理的配慮」の実践事例を蓄積すると共に、適切な「合理的配慮」のための校内体制の整備等について実践研究を行う。

○ 内容

「インクルーシブ教育システム構築モデルスクール事業」とは、障害のある子どもに対して、その状況に応じて提供する「合理的配慮」の実践事例を蓄積すると共に、適切な「合理的配慮」のための校内体制の整備等について実践研究を行うものである。その成果の普及を図る実践校として、取手市立取手小学校が推挙された。

- ・運営委員会委員や専門家協力員等への謝礼 892,950 円
- ・研修、研究発表会等出席時費用弁償 33,550 円
- ・参考図書等事務用品購入費等 147,512 円

○ 効果

支援を要する児童への合理的配慮がより明確になり効果的な取り組みについての実践事例を蓄積することができた。合理的配慮を決定するにあたっては、スクールカウンセラーと保護者との面談や医療機関との連携についても円滑にできるようになった。

[担当：指導課] P. 353

5201 学校保健・学校安全研究推進校事業に要する経費 50,000 円

[国・県 50,000 円]

* 特財内訳

[県委：学校保健・学校安全研究推進校委託金 50,000 円]

○ 目的

児童生徒の健康・安全に関する今日的課題について実践的研究を行い、その充実を図る。

○ 内容

・参考図書・事務用品 50,000 円

○ 効果

実施指定校生徒の生活や心の実態を普段の生活からの観察やアンケート調査により把握し、その実態に即した施策を施すことにより、子どもたちの身体や心の健康、生活の安全を維持・推進することができた。

1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 353

1001 青少年健全育成に要する経費 10,647,497 円 (10,758,651 円)

[国・県 61,360 円 その他 13,560 円 一財 10,572,577 円]

* 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金 61,360 円]

[諸収入：特別青少年相談員雇用保険料本人負担分 13,560 円]

○ 目的

青少年センターに配置した特別青少年相談員と各地区から委嘱した青少年相談員を中心に、青少年自身や保護者からの悩みごとや困りごとなどの相談を受けるとともに、学校や関係機関団体と協力して街頭指導を行い、問題行動の早期発見、早期解消を図り、青少年が安心して生活できる街づくりに努める。

また、青少年育成団体に助成を行うことにより、青少年の健全育成に関わる市民活動の活性化を図る。

○ 内容

・報酬 青少年相談員報酬 6,204,000 円 (月額 9,400 円×55 人×12 か月)
84,600 円 (月額 9,400 円×1 人×9 か月)
特別青少年相談員報酬 2,712,000 円 (月額 113,000 円×2 人×12 か月)
・負担金、補助及び交付金 6 団体 1,286,900 円

○ 効果

この事業を通して青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P. 357

2001 小学校管理に要する経費 224,622,730 円 (207,562,292 円)

[その他 1,052,879 円 一財 223,569,851 円]

＊ 特財内訳

[使用料：学校開放小学校体育館使用料 793,300円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 37,584円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 129,670円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 92,325円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

- ・TT（ティームティーチング）特別配置事業により、県からのTT加配がっていない小学校7校（小文間小、白山西小、吉田小、高井小、六郷小、山王小、宮和田小）にTT非常勤講師を配置し、課題別学習など多様な学習を展開し、個々に応じたきめ細かな指導を行った。（7,936,926円）
- ・教育補助員を17校（取手小、白山小、小文間小、寺原小、永山小、井野小、白山西小、戸頭西小、吉田小、戸頭東小、稲小、山王小、六郷小、藤代小、宮和田小、久賀小、桜が丘小）に配置し、障害のある児童の生活支援を行った。（52,921,894円）

○ 効果

- ・TT非常勤講師の配置により個々に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図れた。また、教育補助員を配置することで、障害のある児童の生活支援ができた。

[担当：教育総務課] P. 359

2101 小学校施設管理に要する経費 41,936,408円（40,894,650円）

[その他 58,416円 一財 41,877,992円]

＊ 特財内訳

[諸収入：電気設備管理補償金 58,416円]

○ 目的

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

(1) 需用費

項目	内容	金額
消耗品費	各小学校施設補修用消耗品の購入	636,539円
	各小学校施設補修用消耗品の購入（学校配当分）	300,159円
修繕料	各小学校の施設修繕料	9,053,074円
	各小学校の施設修繕料（学校配当分）	4,930,393円

(2) 役務費

項目	内容	金額
手数料	浄化槽の法定点検手数料	68,000円
火災保険料	各小学校施設の火災保険料	1,171,825円

(3) 委託料

委託名	内容	金額
学校警備委託	各小学校の機械警備	5,346,936円
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃（小文間小、永山小、山王小、六郷小、宮和田小）	2,116,800円

消防設備保守点検委託	各小学校の消防設備の保守点検	3,039,750円
排水管清掃委託	各小学校の排水管の清掃	227,850円
電気管理技術者代行委託	各小学校の電気設備の安全管理	2,904,300円
プールろ過装置保守点検委託	各小学校のプールろ過装置の保守点検	653,100円
高架水槽及び受水槽清掃委託	各小学校の高架水槽、受水槽の清掃	755,475円
草刈り清掃委託	小学校隣接地の除草（取手小、白山小）	1,114,050円
樹木消毒委託	各小学校の樹木の消毒	1,664,250円
樹木剪定委託	各小学校の樹木の剪定	1,839,075円
地上デジタル放送受信状況調査委託	地上デジタル放送の受信状況調査（取手小、藤代小）	836,850円
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検（戸頭東小、戸頭西小、白山小、井野小、吉田小、寺原小、白山西小、小文間小、高井小、稲小、永山小）	811,650円
テレビ共同受信設備保守点検委託	テレビ共同受信設備の保守点検（取手小、藤代小）	1,564,500円
エレベーター保守点検委託	エレベーターの保守点検（取手小、寺原小、永山小）	2,230,200円
太陽熱温水設備保守点検委託	太陽熱温水設備の保守点検（取手小）	189,000円
校庭散水設備保守点検委託	校庭散水設備の保守点検（取手小）	60,720円
遠赤外線暖房機保守点検委託	遠赤外線暖房機の保守点検（取手小）	273,000円

(4) 使用料及び賃借料

項目	内 容	金 額
使用料及び賃借料	電柱共架料	99,540円

○ 効果

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 359

2201 小学校保健衛生に要する経費 30,386,570円 (30,115,300円)

[その他 3,083,759円 一財 27,302,811円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460×4,584人=2,108,640円]

[諸収入：学校災害賠償補償保険金 975,119円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、児童及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

・学校嘱託医(27名)、歯科医(24名)、薬剤師(18名)、産業医(18名)の報酬

・児童、教職員健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会

小学生

区分	腎臓検診	蛭虫検査	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	1・2・3年	4年	1年	精密検査対象者	4年
H25	5,034人	2,447人	664人	943人	2人	664人
H24	4,991人	2,483人	721人	953人	12人	721人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	生化学検査 血圧・身体・腹囲測定	胃検診	胸部検診
H25	27人	27人	27人	29人	9人	29人
H24	30人	32人	31人	32人	10人	153人

・学校環境衛生検査の実施（学校プール水質検査・教室等の環境検査・水道管理検査）

○ 効果

生徒及び教職員の健康の保持増進が図れた。

2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P. 361

2001 小学校教育振興に要する経費 13,666,445 円（13,421,452 円）

[一財 13,666,445 円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品（18校）11,695,005 円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習効果が得られた。

[担当：学務給食課] P. 363

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 39,235,908 円（29,258,016 円）

[国・県 5,216,000 円 一財 34,019,908 円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 5,216,000 円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

○ 内容

(単位：円)

区分	児童用教材	理科教材	図書	特別支援 学級教材	合計
H25	16,258,723	11,747,472	8,448,448	815,001	37,269,644
H24	15,374,034	3,644,870	8,149,941	169,816	27,338,661

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 363

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 29,032,565 円（43,715,602 円）

[一財 29,032,565 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

・主に小学校 18 校のパソコン使用料（各校 21 台）に要する経費である。

○ 効果

小学校 18 校において、パソコン教材を活用した学習により、一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務給食課] P. 363

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 31,442,351 円 (29,391,725 円)

[国・県 1,862,000 円 一財 29,580,351 円]

* 特財内訳

[国補：要保護児童就学援助費補助金 120,931×1/2≒61,000 円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 3,254,852×1/2 以内≒1,107,000 円]

[県補：県被災児童就学支援等事業補助金 694,398×10/10≒694,000 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な小学校児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護及び被災児童就学援助者数

区分	要保護数	準要保護数	被災児童数	合計
H25	23 人	421 人	10 人	454 人
H24	23 人	402 人	13 人	438 人

・特別支援教育就学奨励者数

区分	在籍者数	該当者数
H25	149 人	109 人
H24	134 人	88 人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 363

2901 小学校特別活動助成に要する経費 2,216,281 円 (2,026,431 円)

[一財 2,216,281 円]

○ 目的

諸発表・体育大会等を通して児童の活動への意欲を高める。

○ 内容

音楽発表会送迎バス借上料・楽器運搬費 831,500 円
陸上記録会補助金 1,310,000 円
その他（賞状印刷代） 74,781 円

○ 効果

市音楽会、諸発表、体育大会等への参加により、児童のスポーツ等への関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた

2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P. 365

2101 小学校施設整備に要する経費 22,239,262円 (13,719,452円)

[その他 8,500,000円 一財 13,739,262円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 8,500,000円]

○ 目的

各小学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。また、老朽化により雨漏りをしてきた宮和田小学校体育館屋根改修工事を行い、学校環境の改善を図る。

○ 内容

工事請負費

工 事 名	内 容	工 期	工事費
施設管理営繕工事	各小学校施設の営繕工事		13,288,380円
宮和田小学校体育館屋根改修工事	体育館屋根の改修工事	H25. 6. 15～ H25. 9. 30	8,557,500円

○ 効果

各小学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。また、宮和田小学校体育館屋根改修工事を行うことにより、学習環境の改善を図ることができた。

[担当：教育総務課] P. 365

21 小学校建設事業に要する経費 407,461,033円 (695,630,250円)

〈364,969,500円〉※〈〉は、うち24年度繰越分

[国・県 144,930,000円 (139,430,000円) 地方債 243,400,000円 (219,800,000円)]

その他 11,600,000円 一財 7,531,033円]

* 特財内訳

[国補：地域経済活性化・雇用創出臨時交付金 (30,000,000円)]

[国補：地域経済活性化・雇用創出臨時交付金 5,500,000円]

[国補：学校施設環境改善交付金 (109,430,000円)]

[市債：合併特例債 (138,538,220円－44,927,000円)×100% ≒ 91,500,000円]

[市債：合併特例債 (30,374,399円－5,500,000円)×95% ≒ 23,600,000円]

[市債：緊急防災・減災事業債

(223,044,000円－94,503,000円)×100%≒128,300,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 11,600,000円]

○ 目的

永山小学校校庭整備工事および吉田小学校プール北側敷地整備工事ならびに、白山小学校校舎、戸頭東小学校体育館、寺原小学校体育館の耐震補強工事を行い、学校施設の充実と安全性の確保を図る。

また、平成27年4月に予定されている学校統廃合に合わせ存続校となる、吉田小学校校舎増築工事および既存校舎の大規模改造工事实施設計、戸頭東小学校校舎大規模改造工事实施設計を行い、平成26年度に速やかに工事が実施できるよう準備を進める。

藤代小学校校舎トイレにおいては、老朽化が著しいことから改修工事实施設計見直しを行い、平成26年度に速やかに工事が実施できるよう準備を進める。

○ 内容

- ・ 永山小学校 140,671,783 円
 〈校庭整備工事 139,555,500 円〉
 校舎・体育館解体に伴う家屋補償費 1,116,283 円
- ・ 戸頭東小学校 82,729,500 円
 〈体育館耐震補強工事 76,587,000 円〉
 校舎大規模改造工事实施設計 6,142,500 円
- ・ 白山小学校 63,462,000 円
 〈校舎耐震補強工事 63,462,000 円〉
- ・ 寺原小学校 85,365,000 円
 〈体育館耐震補強工事 85,365,000 円〉
- ・ 吉田小学校 34,734,000 円
 校舎増築工事实施設計 11,098,500 円
 校舎大規模改造工事实施設計 5,512,500 円
 プール北側敷地整備工事实施設計 483,000 円
 プール北側敷地整備工事 17,640,000 円
- ・ 藤代小学校 498,750 円
 校舎トイレ改修工事实施設計見直し業務委託 498,750 円

○ 効果

永山小学校校庭整備工事により、児童等が快適な学校生活を送れる教育環境の充実が図られた。また、3校において校舎・体育館耐震補強工事により耐震性能の向上が図られた。

平成27年4月に予定されている学校統廃合により、存続校となる2校の校舎大規模工事实施設計および吉田小学校校舎増築工事实施設計業務委託を行い、平成26年工事实施に向けての準備が進められた。

2 小学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P.369

2001 給食運営に要する経費 295,901,726 円 (292,658,325 円)

[国・県 215,000 円 その他 176,594,495 円 一財 119,092,231 円]

* 特財内訳

[県補：米飯給食推進事業補助金 215,000 円]

[諸収入：小学校給食代（自校分） 176,565,004 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 29,491 円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食の提供。

○ 内容

主な経費

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検 (15 校)	1,457,610 円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃 (12 校)	1,428,000 円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃 (12 校)	1,599,150 円
給食室病虫害防除委託料	給食室等の病虫害の防除 (18 校)	451,500 円
学校給食調理業務委託料	調理業務を民間業者へ委託した。 (9 校：取手小、白山小、寺原小、 井野小、白山西小、永山小、吉田小、 戸頭東小、稲小)	93,100,350 円

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P. 369

2101 給食施設整備に要する経費 3,454,161 円 (3,479,247 円)

[一財 3,454,161 円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。

○ 内容

施設修理や厨房機器等の修繕を行った。

○ 効果

給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P. 373

2001 中学校管理に要する経費 68,271,091 円 (82,232,629 円)

[その他 2,627,523 円 一財 65,643,568 円]

* 特財内訳

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 344,800 円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 72,350 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 2,200,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 10,373 円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へ繋げる。

○ 内容

- ・教育補助員を 2 校 (取手二中、藤代南中) に配置し、障害のある生徒の教育支援を行った。(3,470,936 円)

○ 効果

- ・教育補助員を配置することで、障害のある生徒の生活支援ができた。

[担当：教育総務課] P.375

2101 中学校施設管理に要する経費 18,844,456円 (19,230,041円)

[一財 18,844,456円]

○ 目的

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

(1) 需用費

項 目	内 容	金 額
消耗品費	各中学校施設補修用消耗品の購入	159,548円
	各中学校施設補修用消耗品の購入 (学校配当分)	50,544円
修繕料	各中学校の施設修繕料	4,880,532円
	各中学校の施設修繕料 (学校配当分)	1,904,294円

(2) 役務費

項 目	内 容	金 額
手数料	浄化槽の法定点検手数料	48,000円
火災保険料	各中学校施設の火災保険料	558,363円

(3) 委託料

委託名	内 容	金 額
学校警備委託	各中学校の機械警備	2,167,200円
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃 (永山中、藤代中、藤代南中)	1,144,500円
消防設備保守点検委託	各中学校の消防設備の保守点検	1,161,300円
排水管清掃委託	各中学校の排水管清掃	126,000円
電気管理技術者代行委託	各中学校の電気設備の安全管理	970,200円
エレベーター保守点検委託	エレベーター保守点検 (取手一中、取手二中、藤代中)	1,617,000円
プールろ過装置保守点検委託	各中学校のプールろ過装置の保守点検	212,625円
高架水槽及び受水槽清掃委託	各中学校の高架水槽、受水槽の清掃	483,000円
樹木消毒委託	各中学校の樹木の消毒	609,300円
草刈清掃委託	学校敷地内の草刈 (旧取手一中)	761,250円
樹木剪定委託	各中学校の樹木の剪定	1,613,850円
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検 (取手一中、取手二中、永山中、戸頭中)	215,250円
プール清掃業務委託	プールの清掃 (旧取手一中)	147,000円

○ 効果

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P.375

2201 中学校保健衛生に要する経費 14,455,962円 (14,966,745円)

[その他 990,380円 一財 13,465,582円]

* 特財内訳

[負担金: 日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460円×2,153人=990,380円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、児童及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医(13名)、歯科医(11名)、薬剤師(6名)、産業医(6名)の報酬
 - ・生徒、教職員健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会
- 中学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	2年	1年	精密検査対象者	2年
H25	2,443人	636人	909人	5人	636人
H24	2,584人	638人	1,016人	4人	638人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	生化学検査 血圧・身体・腹囲測定	胃検診	胸部検診
H25	34人	34人	34人	34人	5人	24人
H24	32人	32人	34人	34人	4人	87人

・学校環境衛生検査の実施(学校プール水質検査・教室等の環境検査・水道管理検査)

○ 効果

生徒及び教職員の健康の保持増進が図れた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P.377

2001 中学校教育振興に要する経費 6,689,759円(6,873,523円)

[一財 6,689,759円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品(6校) 6,474,436円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整え、より良い学習環境が得られた。

[担当：学務給食課] P.377

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 18,104,041円(16,398,669円)

[国・県 1,954,000円 一財 16,150,041円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費補助金 1,954,000円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備の良好な環境を図る。

○ 内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	理科教材	図 書	合 計
H25 (6校)	6,009,034	4,590,881	5,558,804	16,158,719
H24 (6校)	6,159,833	1,536,620	7,055,450	14,751,903

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課] P.377

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 23,780,719円 (4,326,354円)

[一財 23,780,719円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

主な経費

- ・パソコン使用料 23,184,000円

○ 効果

中学校6校において、パソコン教材を活用した学習により、一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務給食課] P.379

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 28,526,059円 (32,598,823円)

[国・県 685,000円 一財 27,841,059円]

* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学援助費補助金 179,700円×1/2≒89,000円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 840,740円×1/2以内≒286,000円]

[県補：県被災生徒就学支援等事業補助金 311,126円×10/10≒310,000円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な中学校生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

- ・要保護、準要保護及び被災生徒就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	被災生徒数	合 計
H25	10人	258人	3人	271人
H24	12人	288人	5人	305人

- ・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H25	39人	22人
H24	45人	29人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 379

2901 中学校特別活動助成に要する経費 11,827,339 円 (11,814,471 円)

[一財 11,827,339 円]

○ 目的

諸発表・体育大会等（県南大会・県大会・関東大会・全国大会）を通して生徒の活動意欲を高める。

○ 内容

音楽コンクール・諸発表大会生徒派遣費補助金	577,000 円
体育大会等派遣補助金	4,561,056 円
その他（自動車借上料、賞状印刷代）	6,680,033 円
運動部活動外部指導者賠償保険料	@1,850×5 人=9,250 円

○ 効果

市音楽会、諸発表・音楽コンクール・体育大会等への参加により、生徒のスポーツや音楽への関心・意欲が高まり、活動意欲の向上が図れた。

3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P. 379

2001 中学校施設整備に要する経費 26,679,245 円 (5,794,005 円)

[国・県 15,000,000 円 その他 8,200,000 円 一財 3,479,245 円]

* 特財内訳

[国補：地域経済活性化・雇用創出臨時交付金 15,000,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 8,200,000 円]

○ 目的

各中学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。また、取手第一中学校テニスコート改修工事を行い、学校体育施設の充実を図る。

○ 内容

工事請負費

工 事 名	内 容	工事費
施設管理営繕工事	各中学校の営繕工事	3,234,399 円
取手一中テニスコート改修工事	テニスコートの改修工事	23,205,000 円

○ 効果

各中学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。また、取手第一中学校テニスコート改修工事を行い、学校体育施設の充実を図ることができた。

[担当：教育総務課] P. 379

21 中学校建設事業に要する経費 87,034,500円(13,104,000円)

〈83,328,000円〉※〈〉は、うち24年度繰越分

[国・県 48,280,000円(44,580,000円) 地方債 38,700,000円(38,700,000円)
一財 54,500円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金(44,580,000円)]

[国補：地域経済活性化雇用創出臨時交付金 3,700,000円]

[市債：緊急防災・減災事業債

〈(83,328,000円-44,580,000円)×100%≒38,700,000円〉]

○ 目的

戸頭中学校校舎耐震補強工事を行い、学校施設の充実と安全性の確保を図る。
また、取手第一中学校武道場耐震補強工事実施設計業務を行い耐震性能の向上を図る。

○ 内容

- ・戸頭中学校 〈校舎耐震補強工事 83,328,000円〉
- ・取手第一中学校 武道場耐震補強工事実施設計 3,706,500円

○ 効果

戸頭中学校校舎耐震補強工事により耐震性能の向上が図られた。また、取手第一中学校武道場耐震補強工事実施設計業務委託を行い、平成26年度工事実施に向けての準備が進められた。

3 中学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P. 381

2001 給食運営に要する経費 148,252,567円(153,797,741円)

[国・県 114,000円 その他 93,679,719円 一財 54,458,848円]

* 特財内訳

[県補：米飯給食推進事業補助金 114,000円]

[諸収入：中学校給食代(自校分) 93,671,168円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 8,551円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食の提供。

○ 内容

主な経費

項目	内容	金額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検(6校)	681,450円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(4校)	514,500円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃(4校)	702,450円
給食室病虫害防除委託料	給食室等の病虫害の防除(6校)	688,065円
学校給食調理業務民間委託料	調理業務を民間の業者へ委託した。 (4校：取手一中、取手二中、永山中、戸頭中)	42,302,400円

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P. 383

2101 給食施設整備に要する経費 3,287,391円 (1,081,762円)

[一財 3,287,391円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。

○ 内容

施設修理や厨房機器等の修繕を行った。

○ 効果

給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務給食課] P. 385

2001 幼稚園管理に要する経費 10,221,386円 (8,933,597円)

[その他 3,568,409円 一財 6,652,977円]

* 特財内訳

[使用料：市立幼稚園入園料 104,000円]

[使用料：市立幼稚園保育料 3,421,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 43,409円]

○ 目的

市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。

○ 内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

保育料(月) 5,500円 入園料 4,000円

年 度	4 歳児	5 歳児	合 計
H25	22 人	30 人	52 人
H24	26 人	19 人	45 人

○ 効果

市立幼稚園の適切な管理と運営により、質の高い幼児教育を提供することができた。

[担当：学務給食課] P. 387

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 647,743円 (641,386円)

[その他 7,020円 一財 640,723円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135×52人=7,020円]

○ 目的

学校保健法に基づき、園児の定期健康診断を実施することにより、健康保持を図る。

○ 内容

- ・ 幼稚園嘱託医(1名)、歯科医(1名)、薬剤師(1名)の報酬
- ・ 園児健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会

区分	腎臓検診	蟻虫検査
H25	54人	52人
H24	45人	45人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

○ 効果

定期検診を実施することにより、園児に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学務給食課] P.387

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 113,893,200円 (108,566,267円)

[国・県 28,338,000円 一財 85,555,200円]

* 特財内訳

[国補：幼稚園就園奨励費補助金 補助対象経費

113,145,600円×1/3以内≒27,653,000円]

[県補：被災児童就学支援等事業補助金 補助対象経費

685,200円×10/10≒685,000円]

○ 目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

○ 内容

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
生活保護世帯	0人	1人	1人	0人	2人
市民税非課税世帯	5人	14人	35人	36人	90人
市民税所得割非課税世帯	0人	0人	5人	4人	9人
所得割課税 77,100円以下	4人	53人	62人	53人	172人
所得割課税 211,200円以下	28人	250人	269人	249人	796人
合 計	37人	318人	372人	342人	1,069人

○ 効果

園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園奨励及び幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P.387

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 39,213,270円 (40,560,265円)

[一財 39,213,270円]

○ 目的

幼児教育の振興を図るため、保護者に対して保育料の一部を補助し、幼児教育に係る経済的負担を軽減する。

○ 内容

対象者：取手市在住で私立幼稚園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
月額2,500円	57人	401人	468人	439人	1,365人

補助額 39,150,000円

○ 効果

保護者の保育料に対する経済的負担を軽減し、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P.387

2003 幼稚園施設運営費補助関係経費 2,970,000円 (2,970,000円)

[一財 2,970,000円]

○ 目的

幼児教育環境の充実と、設置者及び保護者の経済的負担の軽減を図る。

○ 内容

幼稚園の施設を整備するにあたり、私立幼稚園の設置者に対して費用の一部を補助した。

・1園につき 270,000円×11園

○ 効果

幼児教育の施設及び設備の充実が図られ、また、私立幼稚園及び保護者の経済的負担軽減に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P.387

2004 幼稚園特別支援教育費補助関係経費 1,650,000円 (1,540,000円)

[一財 1,650,000円]

○ 目的

私立幼稚園における特別支援教育の振興を図る。

○ 内容

障害のある園児が在園している私立幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。

・対象園児1人につき 年額 110,000円 ・対象園児 15人

○ 効果

私立幼稚園の設置者に対し補助金を交付することにより、特別支援教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P.389

2006 幼稚園預かり保育助成事業関係経費 670,378円 (694,973円)

[一財 670,378円]

○ 目的

私立幼稚園における幼児教育の振興を奨励し、その充実及び向上を図る。

○ 内容

夏季休業日に預かり保育を実施した私立幼稚園の設置者に対して、補助金を交付し

た。

・実施園 9 園 @774 円×1, 732h×1/2≒670, 378 円

○ 効果

私立幼稚園の設置者に補助金を交付することにより、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 389

2007 幼稚園共済掛金補助関係経費 147, 285 円 (150, 390 円)

[一財 147, 285 円]

○ 目的

私立幼稚園の災害共済掛金を補助し、幼児の福祉増進を図る。

○ 内容

日本スポーツ振興センター災害共済掛金を納付している私立幼稚園に対して、掛金の 1/2 の額を補助する。

・私立幼稚園 @135 円×1, 091 人=147, 285 円

○ 効果

私立幼稚園に補助することにより、幼児の福祉増進と幼児教育の振興に寄与することができた。

5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 391

2001 成人式に要する経費 2, 070, 000 円 (2, 076, 615 円)

[一財 2, 070, 000 円]

○ 目的

成人に達した若者の新たなる門出と今後の活躍を願い、式典を開催することで祝福する。

○ 内容

平成 25 年度新成人の該当者の中から市内各公立中学校の推薦を受け、実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を委託事業として実施した。

年 度	性別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
H25 (H26. 1. 12 実施)	男	573	409	71. 38
	女	466	319	68. 45
	計	1, 039	728	70. 07
H24 (H25. 1. 13 実施)	男	526	375	71. 29
	女	519	380	73. 22
	計	1, 045	755	72. 25

○ 効果

成人式実行委員会に式典の進行やアトラクション等の企画・運営を委託することで、熱心に意見交換を行い、工夫を凝らした式典が実施できた。さらに記念冊子の編集作業を担当してもらうことで良い記念となる冊子の作成ができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 391

2201 生涯学習推進に要する経費 2,772,754円(2,251,271円)

[その他 359,800円 一財 2,412,954円]

* 特財内訳

[諸収入：市民大学講座受講料 359,800円]

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、各分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

○ 内容

(1) 生涯学習フェスティバル

生涯学習活動を実践している団体やサークルによる体験教室や活動発表などを通じて、幅広い世代間の交流と学びの場を提供するため、藤代スポーツセンターを会場にネットワークフェア 2013 と同時開催で実施した。

実施コーナー	実施内容	参加人数
ものづくり教室	身近なものを加工してものづくりに挑戦 牛乳パックのキャンディボックスとブーメランづくり	約 200 人
昔あそびコーナー	昔の遊び(お手玉・折り紙・ベーゴマ・あやとりなど)体験	約 200 人
自然を大切に 野鳥を観察する会	身近で見られる鳥の紹介、ミニ探鳥会の開催	約 200 人
グラウンドゴルフ体験	グラウンドゴルフ体験	約 200 人
歌声喫茶	ギターの演奏に合わせて童謡、懐かしのメロディなど来場者と共に歌う	約 200 人

(2) 出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」という内容をリーダーバンク登録者及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	H25		H24	
	件数	延べ受講者数	件数	延べ受講者数
リーダーバンク編・登録指導者	10	200 人	9	203 人
行政編・職員等派遣	72	2,296 人	70	2,704 人

(3) 市民大学講座

市民がだれでも参加できる教養・専門講座「市民大学」を開講し、法律から歴史・文学まで専門的な知識を持った講師を迎えて、中長期的な講座を開講した。

講座名	開催日	受講者
わかりやすい源氏物語Ⅲ	7/16～8/20 (全5回)	42 人
西洋美術史	10/4～11/15 (全5回)	31 人
食は命を養う	12/16～2/17 (全3回)	42 人
取手の歴史をつくった人々	1/29～3/19 (全5回)	128 人

通常の市民大学に加え、東京大学（東京大学 EMP）から講師を招き、高齢化社会や地球環境、コミュニティづくりなどに関する先端的な特別講座「明るい未来を拓く先端知」を開講した。

講座名	開催日	受講者
長寿社会に生きる	8/23	161人
地球の温暖化を抑制するエネルギーの使い方	8/26	158人
高齢者の社会参加と体力・認知機能・こころの健康	9/9	150人
豊かなコミュニティを創る植物医科学	10/24	129人
ビックデータが建築を変える	11/22	135人

(4) とりで学遊プラザリーダーバンク

生涯学習に関する各種人材（指導者）の登録派遣制度

リーダーバンク登録者 185人（平成26年3月31日現在）

(5) 農業ふれあい体験事業

委託料 198,000円（取手市子ども地域活動促進事業実行委員会へ委託）

親子米づくり体験講座

市内全小学校の希望者を対象に、親子で田植え、稲刈りの体験学習を実施した。

事業名	実施日	場所	参加者
親子米づくり体験講座	5/11(田植え)	農業 ふれあい 公園	親子 217人 (うち台東区民 42人)
	7/6(自然観察会)		
	9/7(稲刈り)		

(6) 家庭教育学級

市立幼・小中学校の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として家庭教育学級を設置し、社会教育指導員の指導により各学級単位の活動及び全体学習会を実施した。 26学級 延べ参加人数 3,183人

○ 効果

生涯学習フェスティバルでは、活動を実践している団体の体験教室に於いて幅広い世代に対して、交流と学びの場を提供することができた。また、親子米づくり体験講座では、親子での自然体験の活動機会を提供し、学校外活動の充実を図ることができた。

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

家庭教育学級では、「子育てと仲間づくり」をテーマに、親の学びの場として、子育てに関する情報提供や読み聞かせ、食育、子育て講話、健康づくり、研修視察等様々な学習会を開催し、家庭での教育力の向上を図った。

[担当：文化芸術課] P.393

2701 福祉会館改修事業に要する経費 150,213,000円（6,882,750円）

〈150,213,000円〉※〈〉は、うち24年度繰越分

[国・県 74,081,000円〈74,081,000円〉 地方債 35,400,000円〈35,400,000円〉

一財 40,732,000円]

* 特財内訳

[国補：地域経済活性化・雇用創出臨時交付金 〈44,000,000円〉]

[国補：社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成分）
 〈90,244,350円×1/3≒30,081,000円〉]

[市債：福祉会館整備事業債
 〈(90,244,350円-30,081,000円-37,000,000円)×100%≒23,100,000円〉
 〈(19,336,000円-7,000,000円)×100%≒12,300,000円〉]

○ 目的

福祉会館の耐震診断結果がIs値0.3未満となったため、Is値を0.3以上とするとともに避難誘導設備を設置して利用者の安全を図る。

○ 内容

(1) 委託料：〈3,885,000円〉

委託名	内容	工期	金額
福祉会館耐震補強工事監理業務委託	工事監理業務	6/27～3/28	〈3,885,000円〉

(2) 工事請負費：〈146,328,000円〉

工事名	内容	工期	金額
福祉会館耐震補強工事	建物耐震補強工事	6/25～3/14	〈146,328,000円〉

○ 効果

Is値が0.3以上となり、また避難誘導設備を設置することにより利用者の安全性が高まった。

[担当：文化芸術課] P.393

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 3,709,591円 (3,570,910円)

[その他 2,140,000円 一財 1,569,591円]

* 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,140,000円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を援助するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第42回文化祭(取手地区)	7/13, 14, 15 (3日間)	取手地区の文化祭を取手市文化連盟に委託。市民が日頃行っている文化活動を集約し、技芸・展示に分けて発表した。 会場：取手市立市民会館・取手市立福祉会館 委託料：1,000,000円	4,746人
平成25年度取手市藤代文化祭	10/14～11/24の 土日(2ヶ月間)	藤代地区の文化祭を取手市藤代文化協会に委託。作品展、体験型催事及び部門発表を開催した。 会場：藤代公民館 委託料：500,000円	1,932人

2013 取手美術 作家展	6/8～6/19 (12日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展に委託して開催した。37名58点出品。チャリティー小品展。 ギャラリーコンサート、一般向けギャラリーツアー、市内小中学生向けギャラリーツアー(4日間)実施。 会場：とりでアートギャラリー「きらり」 委託料：640,000円	1,772人
第44回 取手市 美術展	10/25～12/2 (33日間)	第1部 洋画、彫刻、デザイン78点 第2部 日本画、写真、書、工芸87点 第3部 小中学生、特別支援学級1,127点 会場：とりでアートギャラリー「きらり」 報償費・需用費：351,741円	4,408人

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	288,000円	団体の運営補助
取手市藤代文化協会	210,000円	団体の運営補助
取手少年少女合唱団	80,000円	団体の運営補助
国際音楽の日コンサート	150,000円	一般公募補助事業新規採択
取手蜚輪	200,000円	一般公募補助事業新規採択

○ 効果

文化事業は恒例事業であるが、主催者が内容を工夫し、来場者数は増加している。但し、取手地区の文化祭は、市民会館の耐震工事と時期が重ならないように夏場の開催だったため、入場者数に影響があった。各文化団体への補助金は市民の文化活動の活性化に寄与している。

【担当：文化芸術課】 P. 393

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 82,140,263円(103,113,255円)

[その他 193,700円 一財 81,946,563円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 120,000円]

[諸収入：市民総合賠償保険金 73,700円]

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図るため、市民会館及び福祉会館を設置している。

○ 内容

(1) 需用費(修繕料)：525,000円

修繕名	内容	工期	金額
市民会館冷凍機 断水スイッチ交換修繕	冷凍機断水スイッチ交換	9/14～10/31	525,000円

(2) 委託料

・平成18年度から市民会館・福祉会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者：(公財)取手市文化事業団

指定管理委託料：80,560,000円

年度	施設名	使用件数	入場者数	稼働率 (使用件数/使用可能日数)
H25	市民会館	137 件	42,619 人	49.2%
	福祉会館	3,485 件	79,453 人	100%
H24	市民会館	230 件	55,448 人	85.8%
	福祉会館	6,023 件	134,464 人	100%

(3) 使用料及び賃借料 (照明機器リース料)

物品名	内容	期間	金額
電話交換設備	電話交換設備をリース	H23.7.1 から H28.6.30	138,600 円

○ 効果

施設の適切な維持・管理を行うことにより、文化活動の拠点として、市民の文化振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P.395

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 3,867,586 円 (3,892,290 円)

[その他 2,321,000 円 一財 1,546,586 円]

* 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,321,000 円]

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を活かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の振興を推進する。

○ 内容

(1) 東京芸術大学卒業・修了作品展における取手市長賞

市長賞賞賜金：1,000,000 円 (500,000 円×2 人)

第 62 回東京芸術大学卒業・修了作品展において優秀作品 2 点(工芸)に市長賞を授与した。受賞作品は本庁舎ロビーと福祉交流センターロビーに展示した。

種類	作品名	作者
工芸 (陶芸)	nuptial coloration(ナプ シャル カラーレション)	樋口 拓
工芸 (彫金)	うごめく	宮尾 耕平

(2) 市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

指導者謝礼：2,622,000 円 (東京芸術大学美術学部及び音楽学部学生等)

東京芸術大学の学生等が、交流を希望した市立小中学校で美術又は音楽の指導を行った。

- ・美術：小学校の授業で児童に絵画技法等を指導した。(交流校 16 校)
- ・音楽：中学校の吹奏楽部活動で生徒に演奏技法を指導した。(交流校 6 校)

(3) 東京芸術大学音楽学部学生によるふれあいコンサート

出演者謝礼：144,000 円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
6/29 (土)	井野公民館	ピアノ、声楽、ヴァイオリン、チェロ	5 人	170 人
12/15 (日)	福祉交流センター	打楽器	4 人	150 人

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近に質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

[担当：文化芸術課] P. 397

3301 アートのあるまちづくりの推進に要する経費 26,998,516円 (30,965,189円)
(2,152,500円) ※〈 〉は、うち24年度繰越分

[国・県 7,382,000円 その他 12,794,480円 一財 6,822,036円]

* 特財内訳

[国補：地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業助成金 4,682,000円]

[国補：アートのあるまちづくり推進事業助成金

(取手音楽の日事業「取手 JAZZ・DAYZ」) 2,700,000円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 5,000円]

[諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 4,749,480円]

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 5,440,000円]

[諸収入：(公財)自治総合センター地域の芸術環境づくり助成金 2,600,000円]

○ 目的

新たな視点に立った文化事業を実施し、取手市から全国へ、文化の発信を行う。東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を活かして、東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用した他市町村にはない、文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

(1) 取手音楽の日事業「取手 JAZZ・DAYZ」

○ 内容

委託料：5,400,000円 (公益財団法人取手市文化事業団)

取手市民会館、福祉会館を中心として市内各所でアマチュアバンドの演奏、市民会館にてプロバンドの演奏を行った。

○ 効果

取手市内だけでなく市外近郊からたくさんの方が来場し優れた演奏を鑑賞することができた。

(2) 壁画によるまちづくり事業

○ 内容

委託料：2,500,000円 (壁画によるまちづくり実行委員会)

芸術が生活の中に自然に溶け込んだアートのあるまちづくりを目指し、平成17年度から「壁画によるまちづくり実行委員会」を立ち上げ、東京芸術大学の協力を得ながら、「壁画」を中心としたプロジェクトを展開してきた。市民には大変好評であり、環境改善や防犯にも大きな役割を果たしてきた。

平成25年度に新たな「壁画によるまちづくり実行委員会」を組織し、国内外から作品を公募し、壁画作品11作目となる「とねがわず」を取手駅西口 JR線路擁壁に制作した。また、取手駅東西連絡通路内では壁面に設置したスクリーンにより映像作品の公開を行った。

○ 効果

「壁画」を制作することにより、落書きや不法ビラ等の犯罪をなくし、安全で快適な市民生活を実現し、芸術と市民生活が一体化した個性豊かな美しい街並みが形成された。

(3) 取手の芸術活動連携サポート事業

○ 内容

委託料：700,000円（NPO 法人取手アートプロジェクトオフィス）

市で行われる芸術活動をまちの地域資源として捉え、芸術文化団体のアート活動を資金面、広報発信面で支援した。

①アーティストの活動支援事業（3団体）

②「とりでアートの日。」と題したとりでアートギャラリーを会場としたワークショップ事業（5団体・6本）

○ 効果

この事業をとおして取手を舞台に活動する芸術文化団体がそれぞれの活動を連携して発信することで市民の芸術体験の機会が増え、取手がより芸術に親しめる街として効果をあげた。

(4) 取手アートプロジェクト

○ 内容

補助金：3,240,000円（NPO 法人取手アートプロジェクトオフィス）

取手アートプロジェクト（TAP）は、平成11年度より市民・東京芸術大学・取手市の三者が連携協力して、地域の特色を活かした芸術活動を行なっているプロジェクトである。

平成25年度テーマ	半農半芸・アートのある団地
開催期間	通年の土曜・日曜
内容	・「半農半芸」は、「地域創成プロジェクト」というテーマで、高須地区を中心に絵具作りや燻製機の作成・勉強会プログラムを行い、のべ878人の参加 ・「アートのある団地」は、「クリエイティブ・サバービア」というテーマで、戸頭団地や井野団地を中心に住民参画型アート作品を制作し、東京藝大生や市内アーティストとの連携プログラムとして展覧会等を実施した。のべ9,582人の参加

・継続事業の主な活動概要

①こどもプログラム

学校へのアーティスト派遣事業（開催校：4校及び3カ所）ほか

②環境整備プログラム

戸頭団地テナントエリアの外壁修繕に係るプランニングを継続実施。

○ 効果

取手アートプロジェクトは、従来のフェスティバル型から通年型のプロジェクトに移行して以来、今年も長期的な視野に立つ企画の枠組みとして「アートのある団地」と「半農半芸」の2つの軸でプロジェクトを展開。取手アートプロジェクトを支えるスタッフの自主的で個性的な企画運営は、評価される場所である。当事業はアートのまち、アーティストの集まるまちとして取手市に潤いをもたらしている。

(5) 地域の芸術環境づくり助成事業

○ 内容

公益財団法人自治総合センター「平成25年度コミュニティ助成事業「(地域の芸術環境づくり助成事業)」で採択され、助成を受けた事業。「ダンチ・イノベーターズ!2013ダンチを変えるアート+建築+α」の実施。

(6) 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業助成金

○ 内容

文化庁「平成25年度文化芸術振興費補助金(地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業)で採択され、助成を受けた事業。「クリエイティブ・サバービア(=創造性を活かしながら郊外で暮らす人々)」の実施。

(7) 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業助成金

○ 内容

文化庁「平成25年度文化芸術振興費補助金(地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業)で採択され、助成を受けた事業。「文化芸術活動による地域創成プロジェクト」の実施。

(8) 井野アーティストヴィレッジ

○ 内容

東京芸術大学と市が連携し、長らく空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟をUR都市再生機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供する。

- ・UR都市再生機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した若手芸術家にアトリエとして貸し出す
- ・東京芸術大学が7戸の施設整備費を負担
- ・7戸のうち1戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担
- ・1戸につき2名以上、利用期間2年
- ・地域との交流及びオープンスタジオへの参加が条件
- ・賃借人数

スタジオ名	101 (管理運営)	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2人	5人	4人	5人	4人	5人	3人

○ 効果

26名のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行った。101号室で月毎に作品を入れ替え、ウインドーギャラリーとしてオープン展示をした。空き店舗を利用し地域の活性化を図り、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

(9) ストリートアートステージリング

○ 内容

工事請負費：〈2,152,500円〉

アートのあるまちづくりを基本理念として様々な空間を利用して街そのものを美術館化していく事業の一環として、平成20年度に制作しストリートアートステージに展示していた作品をリング化し、ゆめみ野公園に設置した。

○ 効果

人々が集う場所に作品を設置することで屋外のアートギャラリーとして芸術を身近に感じ、芸術文化の育成に貢献することができた。

[担当：文化芸術課] P. 397

3401 市民会館改修事業に要する経費 19,215,000 円 (2,194,500 円)

[その他 19,000,000 円 一財 215,000 円]

* 特財内訳

[寄附金：東日本大震災に係る災害対策支援金 19,000,000 円]

○ 目的

市民会館舞台の吊物昇降機、吊物制御盤、引綱ロープ等が老朽化により危険なため改修し、施設の適切な運営管理を図る。

○ 内容

工事名	内容	工期	金額
市民会館舞台機構設備改修工事	舞台設備改修	8/13～1/31	19,215,000 円

○ 効果

施設管理を適切に行うことにより、文化活動の拠点として市民の文化振興に寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 397

3501 IT 基礎技術講習会に要する経費 1,768,095 円 (1,094,625 円)

[一財 1,768,095 円]

○ 目的

IT 講習会の内容充実と市民の情報収集・発信能力の向上に努める。

○ 内容

IT 講習会で使用してきたパソコンが老朽化と旧式化が著しくなり、講習会の運営に支障をきたしていたため、平成 25 年度に白山公民館と戸頭公民館のパソコンの入れ替えを行った。

<リース期間：平成 25 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日（5 年間）>

- ・白山公民館（受講生用 18 台＋指導者用 1 台）計 19 台
- ・戸頭公民館（受講生用 18 台＋指導者用 1 台）計 19 台

○ 効果

最新のパソコンで学習することで学習効率が高められ、多くの受講生の技術向上に寄与した。

[担当：文化芸術課] P. 397

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 7,012,555 円 (6,919,002 円)

[その他 408,800 円 一財 6,603,755 円]

* 特財内訳

[使用料：アートギャラリー使用料 308,600 円]

[使用料：市民ギャラリー使用料 100,200 円]

○ 目的

郷土作家、市民及び行政が一体となり創り上げたギャラリーにおいて、芸術作品の発表の場として、さらには文化・芸術交流の場として幅広い活動を展開する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	入場者数
世界にひとつの アート傘展 VOL. 4	5/29～ 5/19	JOBAN アートライン協議会の事業として平成 24 年 11 月 10 日に開催した「JOBAN アートアンブレラ in 北千住 Vol. 4」で東京芸術大学生がライブペイントしたアート傘を展示。	164 人
とりで風景画展	6/22～7/7	「郷土作家が描く観光絵はがき（市制施行 10 周年・取手観光協会）、「とりで風景絵はがき（市制施行 20 周年記念）」で使用した作品を中心に約 40 作品をを展示。	568 人
サロン・ド・イノ （井野アーティストヴィ レッジ展）	7/13～ 7/28	取手を拠点として活動する若手アーティストの作品紹介。取手市井野団地の一部を「井野アーティストヴィレッジ」として創作活動を行っている芸術家 3 名による「空間芸術表現」を披露した。	263 人
ここに元気な とりでっ子！	8/1～9/1	市内の公立、私立保育所（園）15 カ所に通う 4 歳児、5 歳児の絵画約 600 点を合同で展示。合わせて 4 カ所の子育て支援センターの取り組みを紹介した。（第 4 回）	1,213 人
とりでアートの 日 2013	8/1～9/1	市内の芸術家団体が幼児から大人まで楽しめるワークショップを 6 本開催した。	105 人
壁画プロジェク ト上映会	10/19～ 10/23	国際壁画コンペティション取手 2013 に応募のあった作品の上映会を実施した。	79 人
アートのある団 地	12/23	取手アートプロジェクトのプログラム「アートのある団地」成果発表として、井野・戸頭団地の活動紹介とシンポジウムを開催した。	33 人
小中学生児童生 徒作品展	1/25～ 2/11	市内小中学生による絵画、書写、科学研究・発明工夫、統計グラフ（県展入選作品を含む）の優秀作品展。	1,695 人
15 日間だけの美 術館	2/16～3/2	郷土作家、及び郷土物故作家の作品を集めた展覧会を開催した。	1,810 人

(2) アートギャラリーきりり貸出実績

期間	展示名
4/4 ～4/10	16 人 + α 写真展
4/17～4/23	絵を描く仲間達展
4/26～4/30	聖和会書道展
5/1～5/7	東日本銀行 OB と家族の作品展
9/8～9/16	B：いばら会パステル画展
9/21～9/23	取手市小中学校科学研究作品展・発明工夫展
9/26～10/2	高橋朋子おし花教室作品展
10/4～10/7	取手ライオンズクラブ設立 45 周年記念国際平和ポスターコンテスト
10/9～10/16	全日本写真連盟取手支部写真展
12/4～12/10	コスモス手芸教室作品展
12/12～12/17	MOA 美術館児童作品展

1/7～1/13	A：陶芸展
1/16～1/20	君光と門人たち展／ひまわり園作品展
3/6～3/12	萌黄の会写真展
3/14～3/17	聖和会書道展
3/18～3/23	茨城県南書展
3/28～4/3	取手洋画クラブ展

(3) 市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡地下道及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸し出しを行なった。

・利用件数

ギャラリー名	H25 年度	H24 年度
取手駅市民ギャラリー	51 件	53 件
藤代駅市民ギャラリー	23 件	26 件

○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化の交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与できた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 399

3801 放課後児童対策事業に要する経費 122,633,489 円 (122,300,009 円)

[国・県 33,144,000 円 その他 36,862,347 円 一財 52,627,142 円]

* 特財内訳

[国補：社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成分） 215,000 円]

[県補：放課後児童対策事業補助金

放課後子ども教室推進事業補助金 @14,392,392 円×2/3≒9,594,000 円

放課後児童健全育成事業補助金 @35,003,000 円×2/3≒23,335,000 円]

[負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 34,128,750 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 2,200,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担金 533,597 円]

○ 目的

市内の小学校に通う全児童を対象として、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、子どもの健全育成を図る。

○ 内容

子どもの居場所づくり事業と児童クラブ事業を一体化し、平成 20 年度から「放課後子どもクラブ」として市内全小学校 18 校で開設している。

放課後や夏休み等の長期休業中に、小学校 1 年生から小学校 6 年生を対象に、安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、児童の健全育成を図る児童クラブと一体化した形で、様々な体験活動を行うなど、総合的な放課後児童対策事業として実施した。

学習アドバイザーの活用や各種ボランティアとの交流など内容の充実に努めた。

放課後子どもクラブ登録児童数（通常利用登録者）

平成 26 年 3 月 1 日現在（単位：人）

小学校名	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取 手 小	33	48	20	27	27	3	158
白 山 小	37	35	34	29	14	6	155
小文間小	6	6	6	2	2	1	23
寺 原 小	37	36	36	25	17	4	155
永 山 小	47	32	26	21	13	4	143
井 野 小	13	10	19	13	5	8	68
白山西小	10	17	11	10	8	5	61
戸頭西小	27	21	16	19	5	7	95
吉 田 小	27	36	12	17	8	0	100
戸頭東小	38	32	27	28	10	4	139
稲 小	27	24	20	11	9	3	94
高 井 小	17	7	14	5	4	1	48
山 王 小	9	15	10	11	3	2	50
六 郷 小	12	9	11	17	10	3	62
藤 代 小	42	29	27	17	14	7	136
宮和田小	44	37	16	29	5	12	143
久 賀 小	18	15	20	14	7	8	82
桜が丘小	19	30	25	22	10	4	110
合 計	463	439	350	317	171	82	1,822

○ 効果

児童の健全育成のために貢献することができた。また、全学年・全児童を対象としたことで異学年間の交流も図ることができた。

5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館] P. 401

0501 公民館事務に要する経費 73,537,630 円（63,503,385 円）

[その他 14,800,445 円 一財 58,737,185 円]

* 特財内訳

[使用料：公民館使用料 5,559,817 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 8,700,000 円]

[諸収入：コピー使用料 479,246 円]

[諸収入：電話通話料 90 円]

[諸収入：電気使用状況モニター 5,250 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 48,293 円]

[諸収入：資源物売却代 7,749 円]

○ 目的

公民館施設の適切な管理運営と施設整備を行うことにより、市民の利用環境の充実を図る。

○ 内容

主な修繕・工事	・ 永山公民館講座室 D 空調設備改修工事	1,375,500 円
	・ 小文間公民館屋根改修工事	5,670,000 円
	・ 藤代公民館付帯施設・旧藤代商工会館解体工事	11,194,197 円
	・ 井野公民館冷温水機改修工事	2,310,000 円
	・ 小文間公民館電灯盤取替工事	698,250 円
	・ 永山公民館改修工事	2,467,500 円
	・ 戸頭・永山・小文間公民館畳の表替え修繕	829,552 円
	・ 相馬公民館トイレ修繕	262,500 円
	・ 戸頭公民館自動扉開閉装置交換修繕	357,000 円
	・ 井野公民館流し台修繕	204,750 円

○ 効果

老朽化による機能損失の著しい永山公民館の空調設備の改修を行い利用者の利便性を図った。小文間公民館の屋根改修や電灯盤取替え工事を行い施設管理の充実を図った。藤代公民館付帯施設・旧藤代商工会館解体を実施し、駐車場の増大を図るとともに利用者の安全性を図った。

また、永山公民館耐震診断調査において Is 値が 0.30 未満と診断されたため改修工事を行い、利用者の安全性を確保した。

[担当：公民館] P. 405

2101 公民館活動に要する経費 1,579,256 円 (1,565,195 円)

[一財 1,579,256 円]

○ 目的

公民館は、地域住民にとって最も身近な学習拠点として、教養の向上、生活文化の振興、社会福祉の増進等に寄与し、自主的な学習活動及び交流の場として重要な役割を担う。そのため、地域の特色を生かした事業を展開し、地域の振興を図る。

○ 内容

(1) 公民館各種事業

市内 14 公民館において、多様化する住民の学習ニーズ、高度化する学習内容に対応した活動の充実を図るため、それぞれの世代を対象にした講座、講演会及び子どもふれあいスクール事業などの公民館事業を展開した。

対象	事業名	期 間	回数	受講者数(人)	事業内容及び結果
青少年	おもしろ理科実験教室	7月	1	40	理科の実験の楽しさを学習した。戸頭公民館にて、戸頭子どもふれあい広場と共催。
	戸頭子どもまつり	7月	1	380	レクリエーションを通じて地域の子どもの交流を図る。
	子どものつどい	11月～1月	2	410	ウォークラリーや、餅つき、どんど焼きなど。

	サマースクール	7~8月 4館	4	72	子供工作教室、いちごパックを使って、色々な飾りを施したティッシュボックス・小物入れを作る。
	夏休みセミナー	8月	2	50	ローソクを使ったポンポン船や、親子でブーメラン作り。
	トールペイント教室	8月	1	26	木の素材に色を塗って、トールペイントを楽しみ、オリジナル作品を作成する。
	親子ふれあい 事業 他	8~12月	3	430	ふれあい広場、新春子どもの集い等世代間交流事業を開催。
	クリスマス人形劇	12月	1	150	劇団どんぐりによるクリスマス公演を開催した。
	クリスマスケーキ づくり教室	12月	1	28	クリスマスケーキ作りを楽しく学ぶ。戸頭公民館にて、戸頭子どもふれあい広場と共催。
	たこあげ大会 たこ作り教室	1月	1	100	正月の風物詩であるたこあげ大会とたこ作り教室を開催。
	昔の遊びと 今の遊び教室	11月	1	38	ベーゴマやあやとり、折り紙などの昔の遊びを中心に、今の遊びやゲームなどを行った。
	抹茶の点て方体験講座	3月	1	20	公民館まつりお茶席会場での体験講座。抹茶の点て方を学ぶ。
	レザークラフト 体験講座	3月	1	20	公民館まつりでの体験講座。皮工芸でパスケースの作成。
婦人	婦人学級	年間	各学級 10~12	1学級 11人~34人 8学級(189人)	出会いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら心豊かな人間性を高めた。
高齢者	高齢者学級	年間	各学級 11~12	1学級につき 20人~101人 3学級(150人)	敬愛される高齢者を目指して、健康・趣味・奉仕活動等を積極的に行い、物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
	藤代学園	年間	11	996	学習、趣味活動を通じて、社会情勢への円滑な適応を図った。
	ローンボール大会	8月	1	24	高齢者で、輪投げ大会をし交流を深めた。
成人	ふるさと講座	9~11月 3館	6	130	郷土に関することの学習を通し、郷土愛と交流を深めた。
	グリーンカーテン張	6月	1	6	節電対策の一環として、庁舎に設置した。
	着付け教室	7~12月 2館	3	15	ゆかたや、正月の着物の着付けを学習した。
	お父さんのつどい お母さんのつどい	11月	1	35	高須地区のお父さん、お母さんの研修視察を行い、交流を図る。
	そば打ち	10~12月 2館	2	29	自分でそばを打つ楽しさと秋の味覚を楽しんだ。

	しめ飾り講座	12月 8館	9	216	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
一 般	さつき展	6月	1	64	地域住民によるさつきの展示で地域の親睦を深めた。
	ソフトボール大会	6~10月 2館	2	200	ソフトボールの振興と地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	親子ふれあいフェスティバル	8月	1	290	親子を対象に、流しそうめん大会や、すいか割り等を高須公民館で実施した。
	夏まつり	8月 3館	3	1,500	夏の風物詩の盆踊り、模擬店等で、地域の親睦を深める。
	運動会	6~10月 3館	3	950	小文間、六郷、山王で小学校と合同。
	卓球大会	8月	1	28	親子で楽しめる卓球大会をかいさいした。
	健康づくり講座	4~3月	10	316	筑波大名誉教授による腰痛・膝痛予防等の講座。
	ゲートボール大会	10月 2館共催	1	40	健康増進と地域の親睦を目指し、交流を深めた。 (戸頭・永山共催)
	ペタンク大会	10月	1	50	スポーツ(ペタンク)を通じて、各世代間の交流を図った。
	菊花展	11月	1	138	地域住民による菊の展示で地域の親睦を深めた。
	クリスマスコンサート	12月	1	100	地域の音楽家による、みんなで楽しめるコンサートを開催。
	やさしい手相入門	3月	1	26	手相学の基本など占い全般を楽しく学んだ
	卓球教室	7~9月 1館	1	52	月2回、初心者を対象に実施。
	ファミリーウォークラリー	11月	1	150	子どものつどいと共催で実施
公民館まつり	2~3月 11館	11	4,340	作品展示や催しもの等、公民館で活動する団体による発表と地域交流の場を提供した。	

(2) 各公民館利用状況

公民館名	年度	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	H25	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	H24		
小文間公民館	H25	1,521	16,141
	H24	1,547	16,617
永山公民館	H25	2,590	37,954
	H24	2,954	43,760
寺原公民館	H25	2,407	38,600
	H24	1,833	28,551

井野公民館	H25	5,023	98,078
	H24	4,991	94,510
戸頭公民館	H25	4,477	76,621
	H24	4,280	76,180
白山公民館	H25	3,277	65,907
	H24	3,384	72,308
藤代公民館	H25	3,065	57,474
	H24	3,039	61,249
山王公民館	H25	737	7,669
	H24	594	6,658
六郷公民館	H25	995	16,085
	H24	1,016	15,912
相馬公民館	H25	1,106	14,746
	H24	980	12,887
相馬南公民館	H25	1,670	22,319
	H24	1,487	23,202
高須公民館	H25	421	5,988
	H24	444	5,622
久賀公民館	H25	884	10,492
	H24	962	13,028
計	H25	28,173	468,092
	H24	27,511	470,484

○ 効果

地域の環境により、学級講座等の事業内容をそれぞれ特色のあるもので充実を図ったことで、大切な地域の拠点である公民館で、まちづくりや人づくりを推進させることができた。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P. 405

2001 図書館管理運営に要する経費 22,451,134 円 (24,843,798 円)

[一財 22,451,134 円]

○ 目的

図書館の利用者に安全で快適な場・空間を提供し、生涯学習活動の拠点として、市民の教育・文化の発展に寄与する。

○ 内容

自由で公平な資料提供を中心とする奉仕活動を行うため、適切な図書館施設の維持管理を行う。

[担当：図書館] P. 407

2101 図書館活動に要する経費 46,112,604円 (46,988,387円)

[その他 215,690円 一財 45,896,914円]

* 特財内訳

[諸収入：コピー使用料 147,820円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 67,870円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応すべく、読書環境の整備と奉仕活動の強化に努め、利用者へのより質の高いサービスと文化的で有意義な図書館資料の提供を図る。

○ 内容

(1) 主な事業

- ・子育て支援 ブックスタート事業 (年間 24 回 655 冊)
幼児・児童向け読み聞かせ (のべ 46 回開催 参加者 719 人)
- ・学校との連携 学校図書館への支援 (司書教諭との合同会議及び研修 2 回)
学校訪問お話し会 (市内小学校 12 校 3・6 年生対象 1,246 人)
- ・図書館だより ライブラリープラス (6 回発行)、ほんバナ (4 回発行)
- ・図書館まつり 取手図書館 (7/7 1,900 人)
ふじしろ図書館 (4/20～21 2,330 人)

(2) 登録者数

(単位：人)

年齢別 登録者数	0～ 6 歳	7～ 12 歳	13～ 15 歳	16～ 18 歳	19～ 22 歳	23～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60 歳 ～	合計
H25	701	2,777	2,113	2,399	2,925	4,652	7,579	7,073	4,556	13,116	47,891
H24	714	2,792	2,175	2,294	2,795	4,493	7,376	6,421	4,403	12,180	45,643
H23	707	2,881	2,206	2,135	2,565	4,332	7,117	5,795	4,273	11,188	43,199
H22	715	3,062	2,298	2,279	2,826	4,677	7,673	5,975	4,565	11,279	45,349
H21	694	3,064	2,283	2,161	2,679	4,302	7,204	5,367	4,573	10,081	42,408

(3) 利用状況

・入館者数

館名	入館者数 (単位：人)				
	H25	H24	H23	H22	H21
取手図書館	171,750	179,498	170,614	182,309	190,857
ふじしろ図書館	195,856	202,396	198,107	190,921	189,824
合計	367,606	381,894	368,721	373,230	380,681

・館別貸出者数

館名	貸出者数 (単位：人)				
	H25	H24	H23	H22	H21
取手図書館	83,358	85,525	84,016	89,244	91,449
ふじしろ図書館	87,637	89,939	89,870	87,543	83,553
戸頭公民館図書室	41,226	44,119	45,576	42,406	42,782
小文間公民館図書室	274	304	277	307	314

寺原公民館図書室	4,119	3,609	3,712	3,703	3,551
永山公民館図書室	566	741	761	744	564
ゆうあいプラザ図書室	3,202	3,217	3,165	2,848	2,847
井野公民館	1,779	1,778	1,786	1,663	1,805
取手駅前窓口	4,485	3,852	4,047	4,024	4,323
山王公民館	144	154	124	143	109
六郷公民館	652	608	559	573	472
相馬南公民館	443	479	392	550	630
久賀公民館	4	6	2	6	0
合 計	227,889	234,331	234,287	233,754	232,399

・貸出冊数

館 名	貸出冊数（単位：冊）				
	H25	H24	H23	H22	H21
取手図書館	260,781	273,067	267,856	287,956	301,944
ふじしろ図書館	264,307	277,829	279,526	265,928	250,769
戸頭公民館図書室	116,045	127,311	133,753	128,775	129,965
小文間公民館図書室	730	638	599	641	660
寺原公民館図書室	8,175	7,280	7,881	8,011	8,166
永山公民館図書室	1,156	1,655	1,698	2,067	1,581
ゆうあいプラザ図書室	7,884	7,942	8,011	7,375	7,316
井野公民館	3,431	3,396	3,248	3,281	3,844
取手駅前窓口	8,135	6,695	7,218	7,444	7,954
山王公民館	231	230	181	205	151
六郷公民館	1,174	1,104	978	1,109	976
相馬南公民館	706	778	654	945	1,071
久賀公民館	7	8	2	9	0
合 計	672,762	707,933	711,605	713,746	714,397

・予約（リクエスト）月別利用状況

月別	予約（リクエスト）件数（件）				
	H25	H24	H23	H22	H21
4月	9,487	9,288	7,715	9,327	8,384
5月	9,080	8,885	9,572	9,403	8,839
6月	9,178	8,683	8,629	7,907	8,299
7月	9,781	9,357	9,897	10,034	9,502
8月	9,675	9,188	9,987	9,339	9,092
9月	9,629	9,691	9,617	9,539	8,920
10月	9,541	9,451	9,689	10,119	9,719
11月	8,917	8,834	9,191	8,888	9,048
12月	8,771	8,788	8,488	9,625	8,579
1月	9,341	9,034	9,161	9,552	9,822
2月	8,495	9,370	9,809	9,130	9,276

3月	8,575	9,692	9,730	6,207	9,514
合計	110,470	110,261	111,485	109,070	108,994

○ 効果

図書館主催、ボランティアとの共催により、市民の読書活動、または図書館そのものに対する関心を高めるような行事を行った。また、ブックスタート事業を、配布冊数を見直しながらも引き続き実施するなど、子どもの読書活動推進のための事業に力を入れた。

[担当：図書館] P. 409

2201 図書館資料購入に要する経費 31,939,260円 (31,407,502円)

[その他 222,802円 一財 31,716,458円]

* 特財内訳

[諸収入：図書弁償金 80,312円]

[諸収入：広告掲載料 142,490円]

○ 目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

○ 内容

図書館の収集方針に基づき、資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・館別蔵書数

館名	図書 (単位:冊)				
	H25	H24	H23	H22	H21
取手図書館	132,611	131,109	127,402	136,748	143,984
ふじしろ図書館	129,117	126,883	121,112	114,403	108,711
戸頭公民館図書室	56,704	56,909	56,766	58,890	58,043
小文間公民館図書室	2,521	2,668	2,487	2,437	2,181
寺原公民館図書室	4,967	4,604	4,870	5,099	4,824
永山公民館図書室	5,434	5,291	4,898	4,856	4,656
ゆうあいプラザ図書室	12,223	11,918	11,629	11,533	11,615
合計	343,577	339,382	329,164	333,966	334,014
館名	雑誌 (単位:種類)				
	H25	H24	H23	H22	H21
取手図書館	101	93	99	97	96
ふじしろ図書館	112	96	101	104	107
戸頭公民館図書室	31	33	33	34	33
合計	2) 244	2) 176	2) 185	2) 198	2) 196

館名	AV (単位:件)				
	H25	H24	H23	H22	H21
取手図書館	199	149	36		
ふじしろ図書館	4,578	4,404	4,303	4,094	3,963
合計	4,777	4,553	4,339	4,094	3,963

1)蔵書冊数には寄贈本を含む。 2)全体の雑誌種類数(各館間で重複する雑誌は1つ

と数える)

○ 効果

各館の特徴を活かした資料収集・整備に努めたことで、利用者サービスが拡大した。

5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：教育総務課] P.411

2001 文化財保護に要する経費 524,171 円 (2,039,455 円)

[一財 524,171 円]

○ 目的

文化財は市民共有の財産であり、地域の歴史の歩みを後世に永く伝える貴重な資料でもあるので、文化財保護法や県・市条例によって文化財保護が義務付けられている。市内の国・県・市指定文化財の保護・活用につとめ、未指定の文化財についても調査を進める。

○ 内容

(1) 指定文化財補助金交付 (459,000 円)

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付した。

(単位：円)

指定	指定文化財の名称	日常管理補助金	防災設備保守点検補助金	その他
		定額	補助率 7/8 以内	【 】は補助率
国	龍禅寺 三仏堂	9,000	60,000	【県補助を除く 3/4 以内】 43,000 [防災設備修繕]
県	本多作左衛門重次墳墓 (本願寺)	9,000		
	大日山古墳 (岡神社)	9,000		
	地藏ケヤキ (高源寺)	9,000		
	長禅寺 三世堂	9,000	30,000	【1/2 以内】 16,000 [漆喰修理] 【定額】 9,000 [文化財防火デー]
市	八坂神社 本殿・拝殿	9,000	50,000	
	東漸寺 山門・観音堂	9,000	35,000	
	白山神社 本殿	9,000	36,000	
	中妻貝塚 (福永寺)	9,000		【1/2 以内】 81,000 [維持管理(草刈)]
	阿弥陀如来坐像 (金仙寺)	9,000		
	絹本金地刺繍釈迦涅槃図 (信楽寺)	9,000		

(2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11月1日から7日の文化財保護強調週間に合わせ、県・市指定文化財「旧取手宿本陣」と県指定文化財「長禅寺三世堂」の特別公開を実施した。

旧取手宿本陣（11月1日～11月10日）

公開日	内 容	参加人数	備 考
11/1～11/10	特別公開	405人	
11/2（土）	講演会	80人	「江戸時代初めの取手一村の成り立ちと水戸街道一」講師：埋蔵文化財センター職員

長禅寺三世堂（11月1日～11月3日）

公開日	内 容	参加人数	備 考
11/1～11/3	内部特別公開	417人	

(3) 文化財防火デー（1月26日）に伴う消防訓練

文化財愛護と保護の意識を高めるため、指定文化財の建造物所有者の協力を得て、毎年総合消防訓練を実施している。平成25年度は1月23日に実施した。

実施日	実施文化財	参加者数	協 力 者
1/23	県指定文化財「長禅寺 三世堂」	60人	地元消防団・地元住民 文化財保護審議委員

○ 効果

文化財の保存・管理について、補助金を交付することで、管理者の負担を軽減するとともに維持・修理を計画的に実施することができた。また、市民の文化財に対する理解と意識の高揚に寄与した。

[担当：教育総務課] P.411

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 13,700,344円（7,291,634円）

[国・県 2,333,000円 その他 240,000円 一財 11,127,344円]

* 特財内訳

[県補：指定文化財等補助金

補助対象事業費 6,999,000円×1/3以内=2,333,000円]

[諸収入：本陣駐車場使用料 240,000円]

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	見学者	平均	内 容
H25	週3日 (金・土・日) ※12/2～3 月末は修復 工事のため 臨時休館	110日	2,054人	18.7人	・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行った。
H24	同上	159日	5,941人	37.4人	同上

(2) 管理・運営経費

- ・一般公開に関する経費：1,120,919円

内 訳	支 出 額
消耗品費（パンフレット用紙等）	38,896円
公開日受付業務委託料	1,082,023円

- ・維持管理に関する経費：5,580,425円

内 訳	支 出 額
史跡指定地・駐車場賃借料	3,701,284円
日常管理委託料	478,800円
庭園維持管理委託料	766,500円
機械警備委託料	88,200円
消防用設備保守点検委託料	166,950円
火災保険料	49,451円
光熱水費・通信運搬費・下水道使用料	258,260円
修繕料（佐倉道側塀修理）	70,980円

(3) 主屋・土蔵保存修理工事

解体復元工事から、土蔵は約30年、主屋は約20年経過し、経年劣化した部分について、県の補助事業として修復工事を実施した。

【主な修復箇所】

主屋	茅屋根（正面）の表層葺き替え 土壁の修復・欄間修復
土蔵	外壁漆喰の修復・東面板庇の修復

【経 費】

指導者謝礼	日塔 和彦氏 （県文化財保護審議委員）	90,000円
実施設計	中村詔雄社寺建築設計事務所	280,000円
工事監理	中村詔雄社寺建築設計事務所	140,000円
工事請負	岩瀬建築有限会社	6,489,000円
	計	6,999,000円

○ 効果

旧取手宿本陣の公開は、市民の歴史や文化財に対する関心を高めている。また、見学者の約6割が市外からの訪問者であり、市の観光資源として活用されている。また、25年度は、県からの補助金を受け、主屋・土蔵の修復工事を実施し、文化財の保存に寄与することができた。

[担当：教育総務課] P.413

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 1,479,159円（590,082円）

[その他663,000円 一財816,159円]

* 特財内訳

[負担金：発掘調査原因者負担金 650,000円×1件=650,000円]

[諸収入：郷土史売却代 13,000円]

○ 目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領に基づき土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確

認調査や発掘調査に迅速に対応する。発掘調査によって貴重な埋蔵文化財を記録する。

○ 内容

(1) 市内遺跡確認・緊急調査の概要

確認調査（試掘）や個人住宅の発掘調査を、市が実施した。

遺跡名・事由・面積	期 間	内 容
姫宮神社遺跡 通信設備・80.00 m ²	6/6～10	縄文時代 柱穴跡 縄文土器・石器 等 ※ 原因者負担調査に移行
陣屋原遺跡 個人住宅・500.00 m ²	7/31～8/6	遺構・遺物なし
後原遺跡 集合住宅・486.81 m ²	9/10・11	平安時代 住居跡 ※ 盛土保存
新屋敷遺跡 宅地売買・486 m ²	9/17・18	奈良・平安時代以降 溝 縄文土器 等 ※ 保存方法は建設計画時に協議
神明遺跡 個人住宅・570.22 m ²	9/24～30	遺構・遺物なし
南中原遺跡 個人住宅・150.61 m ²	10/31	遺構・遺物なし
佃遺跡 個人住宅・436 m ²	10/3・4	遺構・遺物なし
西方貝塚 駐車場・321 m ²	3/19	遺構・遺物なし
市之代7号墳 内容確認調査・1040 m ²	3/6～31	古墳周溝・平安時代 竪穴遺構 土師器・須恵器 等

【主な経費】

- ・ 市内遺跡確認調査発掘作業委託料 689,318 円
- ・ 機器使用料（バックホウ等重機使用料） 130,200 円

(2) 姫宮神社遺跡発掘調査（事業者（原因者）負担事業）

通信設備建設により保存が困難である姫宮神社遺跡の一部を記録保存するための発掘調査事業。原因者である事業者の経費負担により発掘調査ならびに出土遺物の整理作業を実施した。

・ 発掘調査・整理作業概要

事 項	概 要
調 査 実 施 区 域	取手市市之代字西前 492 (80.0 m ²)
調 査 要 因	通信設備建設に伴う事前発掘調査
出 土 品 等	縄文時代竪穴遺構、縄文土器、石器等
発 掘 作 業 期 間	平成 25 年 8 月 8 日～9 月 8 日
整 理 作 業 期 間	平成 26 年 1 月 24 日～3 月 31 日

・経費（651,540円）

経費内訳	支出額	内容
発掘調査	400,000円	
委託料	(319,788円)	発掘作業員委託料
消耗品費	(39,787円)	
使用料	(40,425円)	バックホウ使用料
整理作業	251,540円	
委託料	(207,900円)	整理作業員委託料
消耗品費	(38,800円)	
印刷製本費	(4,840円)	

○ 効果

平成25年度は、9遺跡10件の確認・発掘調査で、縄文時代から奈良・平安時代の遺跡を調査し、縄文土器などの貴重な資料が出土した。これらの調査により、重要な市内遺跡の破壊を防ぎ、貴重な資料を得ることができた。

【担当：教育総務課】 P.415

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 676,065円（649,378円）

[一財676,065円]

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料を収納するとともに、その整理・研究成果を市民に紹介するため、企画展示・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心や、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1) 年間来館者数

年度	平成25年度	平成24年度
来館者数	5,324人	4,618人

(2) 展示活動

展示名	期間	入場者数 (1日平均)	経費	内容
第33回企画展 「アジアの西と東 メソポタミア8000年と取手」	2/25～4/26 開館61日 内4/1～26日	1,233人 (20.2人) 4/1～26 576人 (22.2人)	報償費、印刷製本費は平成24年度予算で対応 (4/1以降は支出なし)	市民から寄贈を受けたイラク出土の考古遺物と、取手市出土の考古遺物を展示して、メソポタミアと取手の歴史を紹介した。

第 34 回企画展 「平将門と子孫たち」	7/22～9/20 開館 61 日	1,703 人 (27.9 人)	報償費 30,000 円 印刷製本費 271,950 円 (ポスター、解説 図録)	市内に数多くの伝説が残る平将門と、将門の子孫を称した千葉氏・相馬氏と取手のかかわりを、史実と伝説の両面から紹介した。 8/5 講演会「平将門の乱と東国社会」参加者 217 人、 講師：川尻秋生氏（早稲田大学文学学術院教授） 平将門ミニ講座（8/24・9/7） 参加者計 201 人 講師：センター職員
第 35 回企画展 「中妻貝塚と 101 体人骨の謎～森と海と川と貝塚のひとびと～」	2/17～4/25 開館 68 日 内 3/31 まで で 43 日	2,198 人 (32.3 人) 3/31 までで 1,514 人 (35.2 人)	報償費 30,000 円 印刷製本費 271,950 円 (ポスター、解説 図録)	中妻貝塚で出土した 100 体以上にも及ぶ多数合葬墓の人骨の研究でわかった縄文時代の人びとやその暮らしについて研究成果とともに紹介した。 3/29 講演会「中妻貝塚のひとびと」 参加者 179 名、講師：阿部芳郎氏（明治大学文学部教授）

○ 効果

平成 25 年度の来館者数は 5,324 人となり、センターの存在と活動が着実に市民に浸透し理解されてきたといえる。こうした活動により、市民の歴史への関心が深まり、文化財を大切にしたい気持ちや文化財保護行政に対する理解を得ることができた。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 417

1001 スポーツ推進委員に要する経費 1,190,360 円 (1,180,091 円)

[一財 1,190,360 円]

○ 目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

○ 内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力に努めた。

スポーツ推進委員報酬 日額 6,300 円×延べ 164 人=1,033,200 円

○ 効果

スポーツ推進委員の活動により、地域スポーツの振興が図られ、多くの市民の健康と体力づくりに寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 419

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,253,000 円 (9,325,000 円)

[一財 9,253,000 円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	32部	7,348人	体協親睦会・講演会の開催、視察研修各種講習会の開催、機関紙の発行、市主催行事への協力及び参加、競技別大会の企画運営、指導者の育成
スポーツ少年団	9連盟 37単位団	指導者 302人 団員 1,021人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室の企画運営、認定員養成講習会、取手ブロック近隣市町村交流会、市主催行事への協力及び参加、各種講習・研修会への参加

○ 効果

体育協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。

また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 419

2002 社会体育振興関係経費 906,830円 (862,490円)

[一財 906,830円]

○ 目的

市民の健康・体力づくりとスポーツ振興を図る。

○ 内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種の大会や体験会を実施した。

各種大会等の開催

事業名	参加人数	場所
第18回 小学生ドッジボール大会	降雪のため中止	取手グリーンスポーツセンター
第44回 市民ゴルフ大会	167人	利根パークゴルフ場
第10回 市民親善ソフトボール大会	128人	取手緑地運動公園
第22回 ソフトバレーボール大会	240人	取手グリーンスポーツセンター
第14回 グラウンドゴルフ大会	125人	取手緑地運動公園
体力測定	120人	取手緑地運動公園
第42回新春健康マラソン大会	1,689人	取手緑地運動公園
第21回ふれあいウォーキング	60人	取手緑地運動公園
第8回市民ペタンク大会	204人	小貝川多目的広場

○ 効果

各種大会を通じて小学生から高齢者まで幅広くスポーツの楽しさを広めるとともに、市民相互の交流が深められ、参加者の健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 419

2003 スポーツ振興奨励関係経費 1,217,000円 (1,095,000円)

[一財 1,217,000円]

○ 目的

社会体育関係団体を助成することにより、選手の育成と市民に対するスポーツ振興及び団体の育成を図る。また、身近なスポーツ・レクリエーション活動を支援する。

○ 内容

関東大会以上の大会に出場した者に対し、奨励金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。

奨励金交付対象 ・団体 13件 ・個人 46件

○ 効果

奨励金制度を活用することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 421

2101 学校施設開放に要する経費 518,017円 (466,875円)

[一財 518,017円]

○ 目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、スポーツ振興と健康増進を図る。

○ 内容

市民が行うスポーツ・レクリエーション、文化的活動を支援するため、学校体育施設の開放を実施した。

年度	利用団体数	延利用人数	開放学校数	開放施設数
H25	256 団体	352,242 人	25 校	58
H24	230 団体	317,427 人	25 校	58

○ 効果

市民の健康、体力増進と学校体育施設の有効利用を図ることができた。

6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 421

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 143,516,665円
(144,602,236円)

[その他 18,506,006円 一財 125,010,659円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 18,000,000円]

[諸収入：グリーンスポーツセンター利益還元金 506,006円]

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらう

ため、適正な維持管理を行うことで市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理を実施している。

・ 指定管理料 120,661,000 円

利用状況

(単位：人)

施設名	H25	H24	増減
室内プール	111,516	107,863	3,653
遊水プール	18,432	17,547	885
第一体育室	62,143	63,727	△1,584
第二体育室	9,506	9,038	468
トレーニング室	47,819	46,812	1,007
柔道場	13,891	11,337	2,554
剣道場	11,104	10,415	689
弓道場	11,948	12,290	△342
健康相談室	36	49	△13
スポーツ障害相談室	239	292	△53
研修室	12,833	14,047	△1,214
会議室	956	1,107	△151
和室	827	785	42
その他	19,251	16,999	2,252
合計	320,501	312,308	8,193

○ 効果

近年は中高年者の利用も増加傾向にあり、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 423

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 41,511,279 円 (36,223,717 円)

[その他 10,234,130 円 一財 31,277,149 円]

* 特財内訳

[使用料：テニスコート使用料 1,670,050 円]

[使用料：野球場使用料 970,000 円]

[使用料：多目的グラウンド使用料 336,200 円]

[使用料：総合体育館使用料 2,711,530 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 4,500,000 円]

[諸収入：コピー使用料 46,270 円]

[諸収入：電話通話料 80 円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの拠点施設として、また憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

施設名	H25	H24	増減
アリーナ	33,111人	32,550人	561人
レクリエーション室	4,719人	4,735人	△16人
多目的グラウンド	8,609人	5,061人	3,548人
野球場	8,430人	9,594人	△1,164人
藤スポ・テニスコート	10,931人	11,513人	△582人
久賀テニスコート	96人	271人	△175人
会議室	934人	997人	△63人
合計	66,830人	64,721人	2,109人

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 425

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 5,812,225円 (5,114,584円)

[その他 1,518,815円 一財 4,293,410円]

* 特財内訳

[使用料：藤代武道場使用料 1,518,815円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの拠点として、武道場（柔道場・剣道場・弓道場）の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

施設名	H25	H24	増減
柔道場	9,245人	8,652人	593人
剣道場	11,328人	11,912人	△584人
弓道場	2,208人	2,010人	198人
師範室	812人	1,012人	△200人
合計	23,593人	23,586人	7人

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 427

2401 社会体育施設管理に要する経費 5,581,460円 (1,669,288円)

[その他 161,600円 一財 5,419,860円]

* 特財内訳

[使用料：高須体育館使用料 161,600円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの拠点として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

高須体育館	H25	H24	増 減
利用団体数	348 団体	257 団体	91 団体
延利用人数	6,213 人	4,068 人	2,145 人

○ 効果

施設の環境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：学務給食課] P.429

2001 給食センター運営に要する経費 131,471,807 円 (130,169,228 円)

[国・県 181,000 円 その他 121,938,905 円 一財 9,351,902 円]

* 特財内訳

[県補：米飯給食推進事業補助金 181,000 円]

[諸収入：幼稚園給食代 2,796,567 円]

[諸収入：小学校給食代（センター分）79,293,170 円]

[諸収入：中学校給食代（センター分）39,849,168 円]

○ 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

○ 内容

給食センターを運営するための経費で、給食臨時職員賃金、消耗品、燃料費、賄材料費、手数料（職員保菌検査、食材検査、細菌ふき取り検査）、及び負担金等である。

○ 効果

内容豊かな給食の提供、給食環境の充実で、支障なく運営することができた。

[担当：学務給食課] P.431

2101 給食センター施設整備に要する経費 34,424,129 円 (30,785,466 円)

[その他 4,000,000 円 一財 30,424,129 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 4,000,000 円]

○ 目的

給食センターの施設管理等の充実を図る。

○ 内容

安全な給食を提供するための維持管理経費である。

(1) 需用費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
光熱水費	水道料、電気料、ガス代	7,160,941
修繕料	調理器具等修繕料	2,346,748

(2) 委託料

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
給食運搬業務委託料	2 台の配送車による各学校への給食運搬業務	12,266,100
電気保安業務委託料	電気設備の安全管理	119,700

受水槽清掃委託料	受水槽の清掃	99,750
真空冷却機点検委託料	真空冷却機の点検	294,000
ガス空調機保守点検委託料	ガス空調機保守点検	341,250
汚水・排水処理施設清掃点検委託料	排水処理施設保守点検・浄化槽油脂の汲取り	1,984,500
ボイラー運転・管理委託料	一級ボイラー技士による運転管理	5,014,800
ボイラー設備総合管理委託料	ボイラーストレージタンク・ボイラー水の中和装置の点検整備・重油タンク清掃・ボイラー排ガス測定	735,000
冷凍・冷蔵設備保守点検委託料	冷凍・冷蔵設備の点検	126,000
高窓・排気ダクト清掃委託料	高窓・燃焼排気ダクトの清掃	168,000
警備委託料	施設警備	167,580
害虫駆除委託料	害虫の駆除	73,500

○ 効果

給食の安全性がさらに高まり、小学校6校、中学校2校、幼稚園1園に予定どおりの給食を提供することができた。